

5) 助詞

学校文法でも助詞の種類はたくさんあります。格助詞、接続助詞、副助詞、終助詞と分類されていて、その中にもたくさんの種類があります。

日本語を学ぶ外国人にとって、正しい助詞の使い方は最も難しい分野なので、根気よく指導することが求められます。

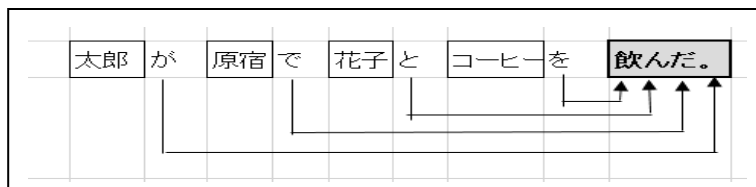
5-1) 格助詞

日本語教育において一番大切なのは格助詞ですが、学校文法と日本語文法ではその定義が異なります。

格助詞とは 学校文法では : 文節と文節の関係を表す助詞

(文節とは意味の分かる範囲で区切ったもの)

日本語文法では : 文の成分である名詞と述語との論理的関係を表す助詞



日本語文法における格助詞はすべて述語との関連をもっています。

「富士の山がきれいです。」

この「の」は学校文法では格助詞ですが、日本語文法では格助詞には含めません。この文章の述語は「きれいです」ですが、「富士の」は「山が」にかかるのであって述語である「きれいです」との関係がないからです。

また「父は松や梅の盆栽を育てている。」の「や」も述語との関係を示していないので日本語文法では格助詞に含まれません。

例題

- A. 公園 () います。
B. 公園 () 遊びます。
C. 駅前 () 田中さん ()
会いました。

こういう問題が出されます。

「どうしてその答になり

ますか？」と質問されて

どのように説明しますか？

学校文法では	日本語文法では
格助詞 例文	
を 花を買った。	
に テニスに行こう。	
まで* 駅まで走った。	
が 太郎が走る。	これら9つを格助詞と言います。いろいろの使い方があります。
より 仕事より家庭が大事だ。	
から 夕方5時から営業している。	
で 公園で遊んでいます。	
へ 北へ向かおう。	
と 彼女と結婚した。	
の 富士の山がきれいです。	×
や 父は松や梅の盆栽を育てています。	×
*「まで」は学校文法では副助詞とされています。	
日本語文法で、格助詞の覚え方として	
を・に・まで・が・より・から・で・へ・と・	
(鬼までが夜からデート) というゴロ合わせで覚えます。	

- A: 回答 「に」 場所を示す「に」——主体の存在する場所
 B: 回答 「で」 場所を示す「で」——動きが行われる場所
 C: 回答 「で」 場所を示す「で」——動きが行われる場所
 回答 「に」 相手を示す「に」——動きの及ぶ相手を示す。
 このような助詞の用法を理解してその用法から正しい答えを導きます。

5-2) 接続助詞

学校文法では		日本語文法では
て (で)	雨が降って地固まる。	「て形」
ば	春になれば花が咲く。	「ば形」
ても(でも)	失敗してもまた挑戦しよう。	「て形」+も
けれど	痛いけれど我慢する。	いろいろの例文で覚えます。
と	言わないとわかりません。	
が	品質は良いが高すぎる。	
し	雨が降るし風も吹く。	
のに	買ったのに使わない。	
ながら	話しながら歩いた。	
ので	暗いので見えません。	
たら	雨が降ったら出かけません。	「た形」+ら
たり	踏んだり蹴ったり	「た形」+り

5-3) 副助詞

「は」は日本語教育においては特別な助詞とされており、「は」と「が」をどう区別するか、日本語の学会においても一大議論があります。その違いや使い方を外国人に説明するのは、大変困難なことです。
 「女の人は何人いますか？」
 「女の人は何人いますか？」
 「が」と「は」はどう違いますか？

学校文法では		日本語文法では
は	ニンジンが嫌いだ。	特別な助詞です。
も	雑誌も読みます。	いろいろの例文で覚えます。
やら	なにやら悪口を言っている。	
こそ	これこそ欲しかったものです。	
でも	僕でも知ってることだよ。	
さえ	幹事さえ来ていない。	格助詞に分類されます。
まで	東京まで行きます。	
しか	あなたしかいない。	いろいろの例文で覚えます。
だけ	君だけに話をするよ。	
など	マンガなど読んでも仕方ない。	

ウナギ文 : 「僕はウナギだ」 この「は」は何？
 「ムード」の中の「主題のは」を参照して下さい。 (第9回)

5-4) 終助詞

学校文法では		日本語文法では
な	きれいな夕焼けだな。	いろいろの例文で覚えます。
か	明日学校へ行きますか。	
よ	早く行こうよ。	
ぞ	よし、行くぞ。	
ね	桜はきれいだね。	

以 上